

横浜市都市美対策審議会 景観審査部会

「まちを楽しむ多彩な交通の充実」に向けた提案に基づく

(仮称) 横浜ロープウェイ プロジェクト 《YOKOHAMA AIR CABIN》

～「夜間景観」について～

2021年 2月 25日

 泉陽興業株式会社

■夜間照明計画の全体構成

照明計画につきましては、横浜市にも関わりが深い世界的に有名な照明デザイナー・石井幹子氏に監修をお願いし、横浜にふさわしい夜の景観を創出してまいります。

基本照明

※第55回(令和元年11月26日)の審議会にて審議

ゴンドラ

乗客の夜景の眺望を妨げない、必要最低限の室内照明を設置いたします。

建築／駅舎

- ① 各街区の特性に応じた夜間景観を創出すること。
- ② 建築デザインのコンセプトに合わせ、上昇感や浮遊感を与えること。

基本となる照明の色温度は3000K程度とし、上階に広く設けられたガラス窓から漏れる内部の暖かな照明が駅舎の存在を柔らかく示します。
また下階は周辺を往来する歩行者に適度な明るさを与える照明を設置する程度にとどめます。
これによって施設全体を浮かび上がらせるというデザインコンセプトに合致し、さらに華美にならず、街区内の夜の景観の一部として魅力ある空間を創り出します。

支柱

支柱には基本照明はございません。

演出照明

ゴンドラ

ゴンドラ下部のガラス面に、演出照明を設置します。

ゴンドラの進行方向2面に透明フィルム状のLED照明装置を設置し、石井幹子氏による“天空のオーロラ”をテーマにした、みなとみらいの夜景に新しい魅力を創り出す演出照明を行います。

建築／駅舎

外観への演出照明はございません。

駅舎内部壁面の一部に、石井幹子氏による壁面カラー演出および映像アートの投影を行います。

支柱

支柱への演出照明はございません。

横浜・みなとみらいの新しい夜間景観のひとつとなる
YOKOHAMA AIR CABIN のライティングテーマ

《 水と光 》

横浜の歴史を象徴する“港”と“海” — すなわち「水」
横浜の希望を象徴する“街”と“空” — すなわち「光」

この大きなテーマを具現化して制作されたものが

両駅舎内壁面 カラー演出照明
ゴンドラ演出照明

水と光

《天空のオーロラ》

運河パーク側駅舎内 映像アート

水と光

《Life Window
～ 光・水・命の旅》

ゴンドラ演出照明について

水と光 《天空のオーロラ》

・コンセプト

横浜の新しいランドマークとなるロープウェイのゴンドラは、天空を飛翔する新しい光のシンボルです。その光は優しく、柔らかく、幻のような美しさを持つこれまでにはない表現のものを指向します。

地球上で最も神秘的な光であるオーロラをモチーフとして、天空を舞う新しい光のオブジェが誕生します。

ゴンドラは桜木町駅舎を出発して雲を抜け、夕日を浴びながら上昇。

天空の光が舞うゾーンに到達。

太陽から地球に届く「メッセージ — オーロラ」を身にまといながら天空を舞います。

施設全体としてはみなとみらいの景観に溶け込ませながら、ゴンドラは少し演出性をもたせ、楽しいイメージを与えます。

ただし演出面積は非常に小さいので、みなとみらいの上空にあっても決して夜間景観を阻害するものではないと考えています。

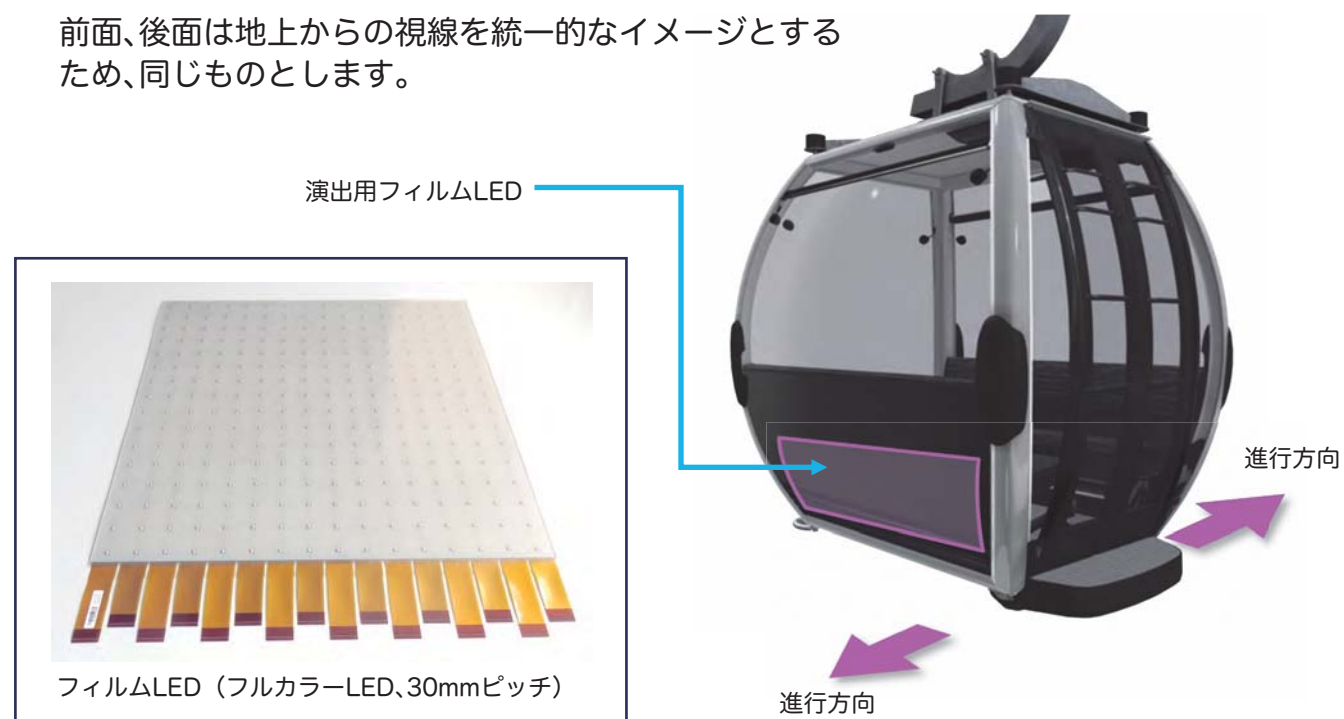
※演出プログラムは、ゴンドラ速度変化による所要時間(最短2分20秒～最長4分12秒)に対応できるものとします。

・パターン

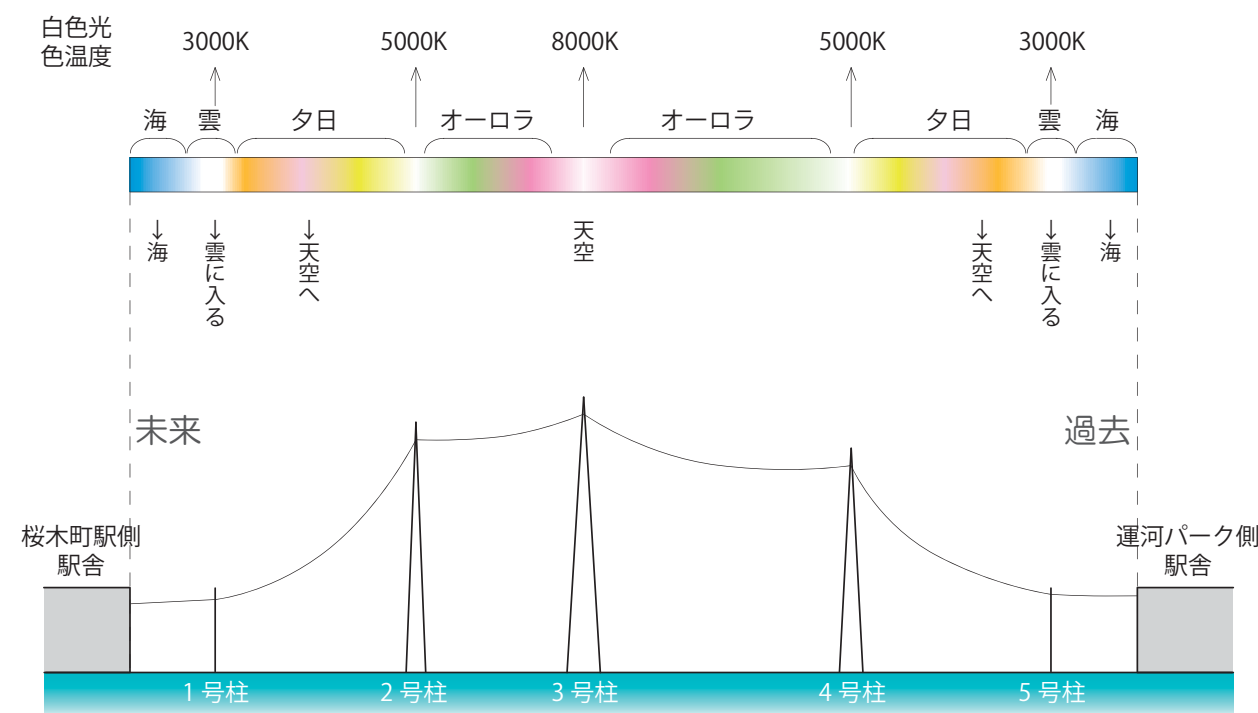
- ①出発時には海のイメージ …… 波
- ②雲の中は白い霧のイメージ …… 白いヴェール
- ③夕日を浴びる間のイメージ …… ゆっくりと輝く
- ④オーロラのイメージ …… 幻想的な光がゆらめく
- ⑤天空のイメージ …… 陽の光が輝く

・ゴンドラの演出について

前面、後面は地上からの視線を統一的なイメージとするため、同じものとします。

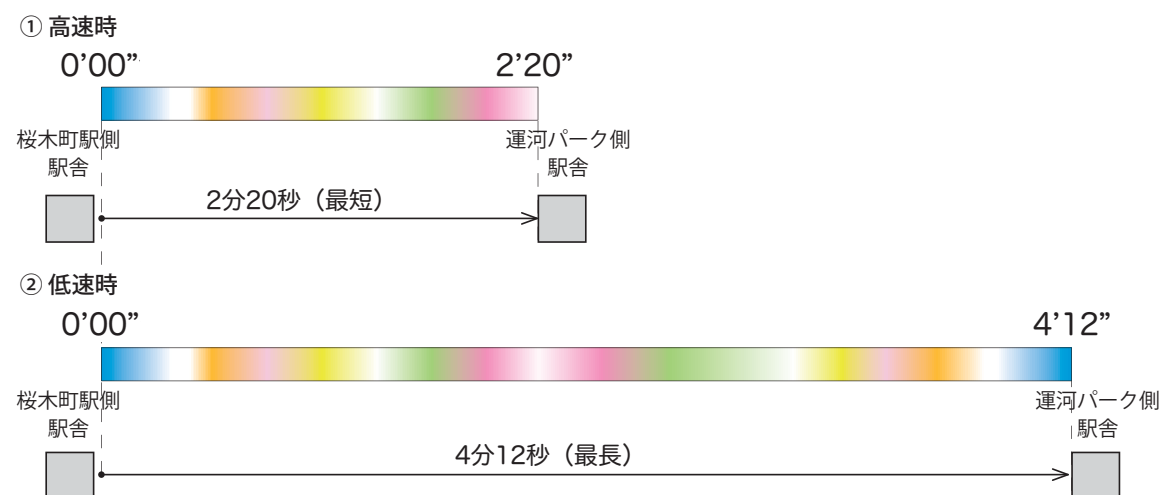


・演出概要図



・ゴンドラの速度による演出の考え方

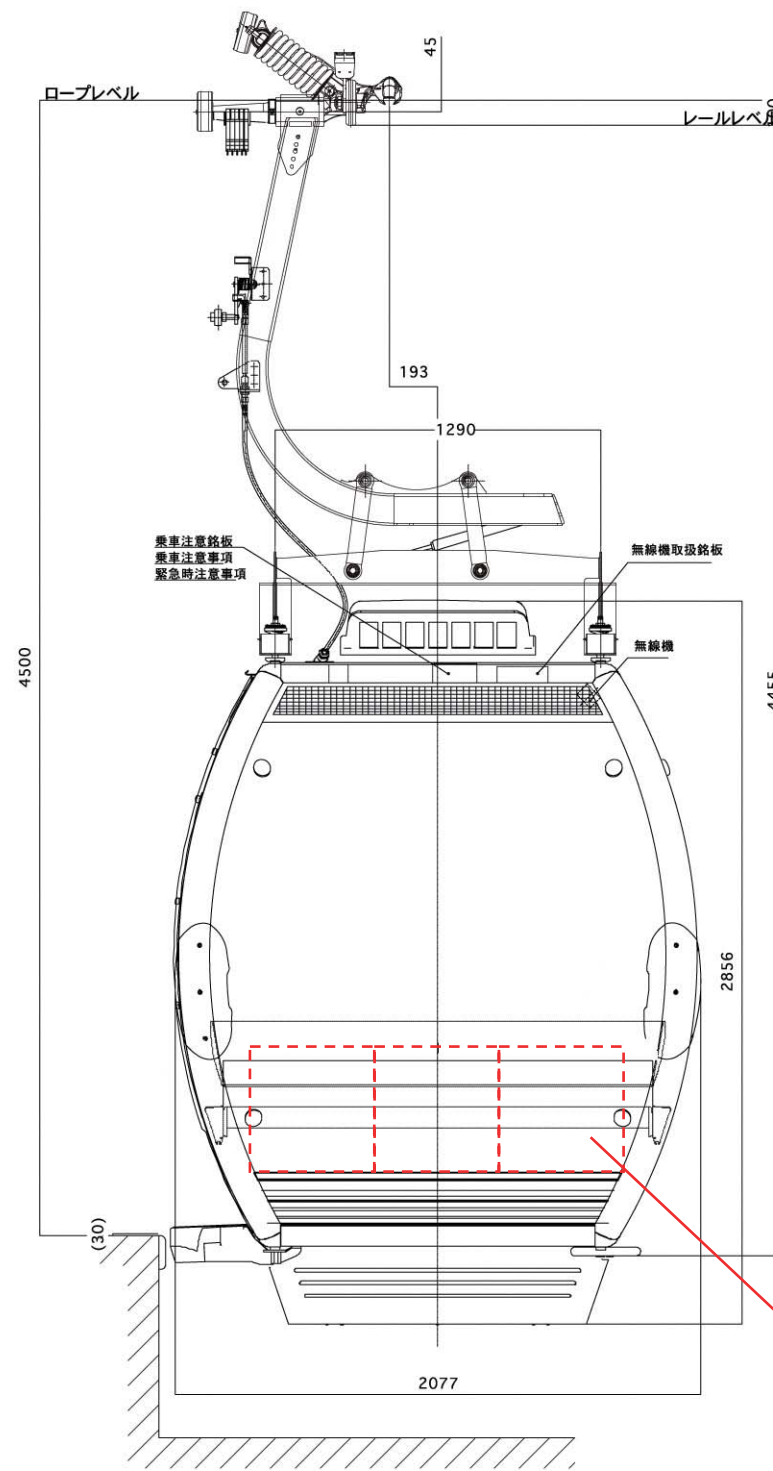
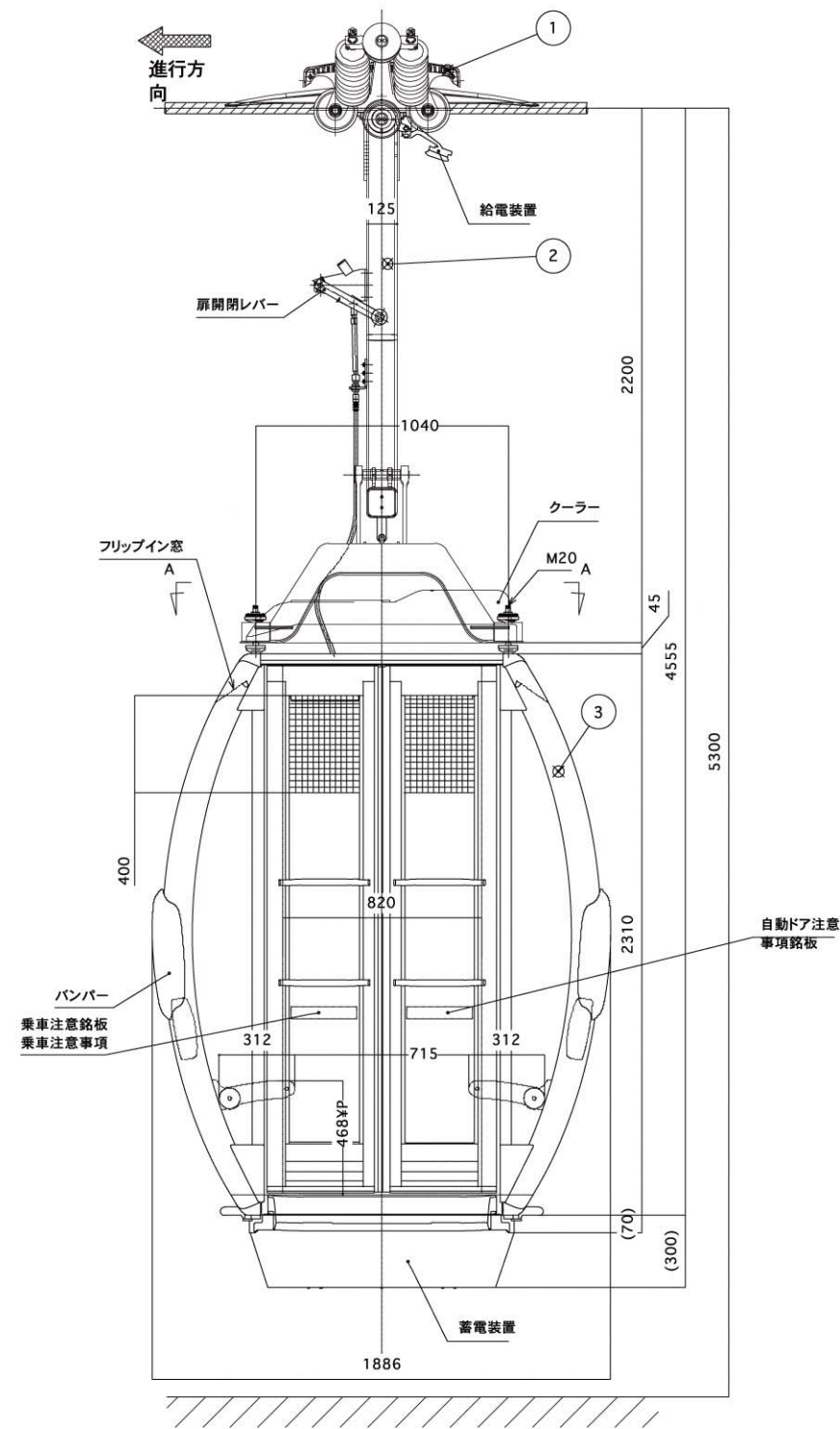
演出スケジュールは、日没より営業終了までとします。



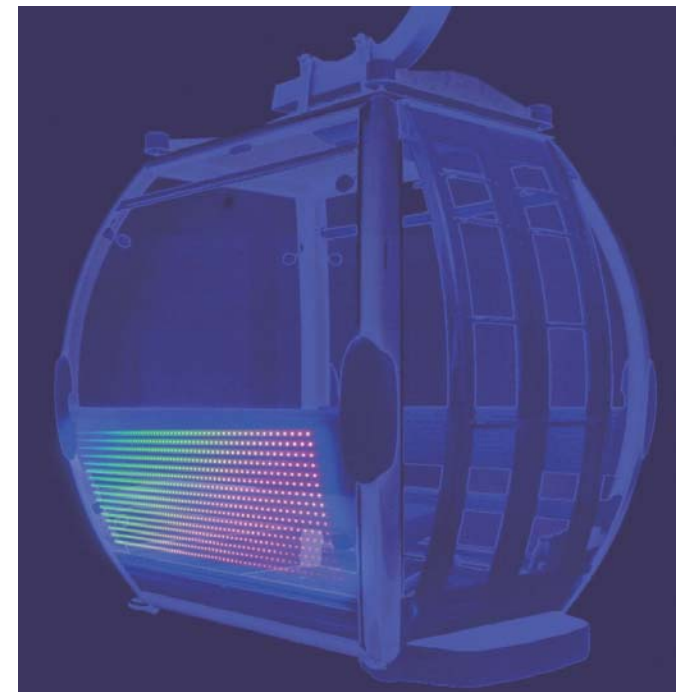
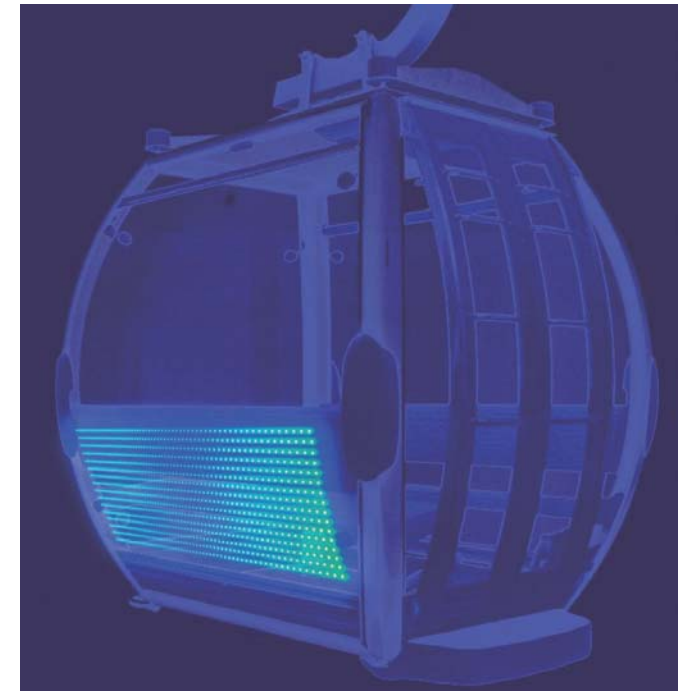
・演出スケジュール

演出スケジュールは、日没より営業終了までとします。

・設置参考図



・演出点灯イメージ



フィルムLED
W1,500×H500

・ストーリーボード

章	テーマ	イメージ写真		光色
1	海			ブルー グリーン
2	雲			ホワイト
3	夕日			イエロー オレンジ ペールピンク
4	オーロラ		 	グリーン ピンク ホワイト

章	テーマ	イメージ写真		光色
5	天空			ホワイト
6	オーロラ			グリーン ピンク ホワイト
7	夕日			イエロー オレンジ ペールピンク
8	雲			ホワイト
9	海			ブルー グリーン



(演出イメージ/試験点灯時撮影)

(演出イメージ)

駅舎内壁面カラー演出照明等について

駅舎内壁面カラー演出

RGBWのウォールウォッシャー型照明器具を用い、壁面を光の色に演出します。

・コンセプト

《桜木町側駅舎》

光の3原色でキャビンのテーマ「天空の光」を暗示します。
駅前広場側のエレベータ周辺の壁面を、正面をブルー、向かって右面を
淡いレッド、左面をグリーンのウォールウォッシャーで照射。

《運河パーク側駅舎》

自動車道に続く広場から見える階段室壁面を、ブルー、グリーン、淡いレッドに、
吹抜空間の壁面をエメラルドグリーンに照射。
光の3原色で「天空の光」を、エメラルドグリーンで映像作品「Life Window
～光・水・命の旅～」と関連付けます。

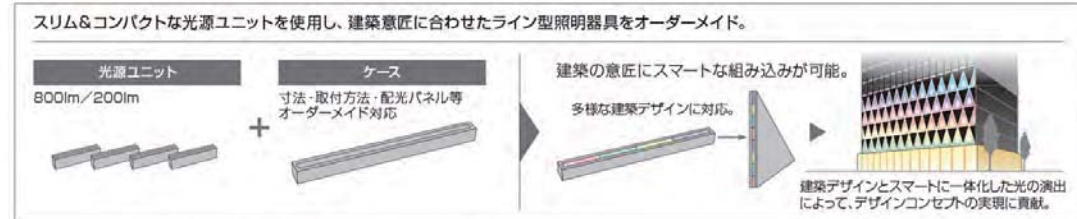
・使用機器

ラインタイプ アーキライン

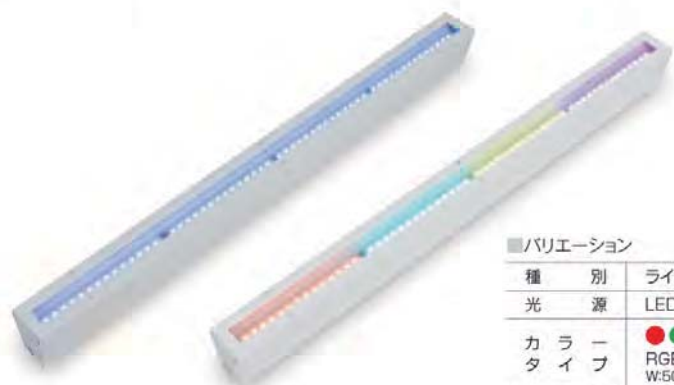


建築の意匠にスマートに組み込める、オーダーメイドのライン型照明器具。

- 建築意匠に合わせてオーダーメイドした照明器具で、デザインコンセプトの実現に貢献。*
- ※器具設計や建築物への取付検討が必要ですので、別途お問い合わせください。

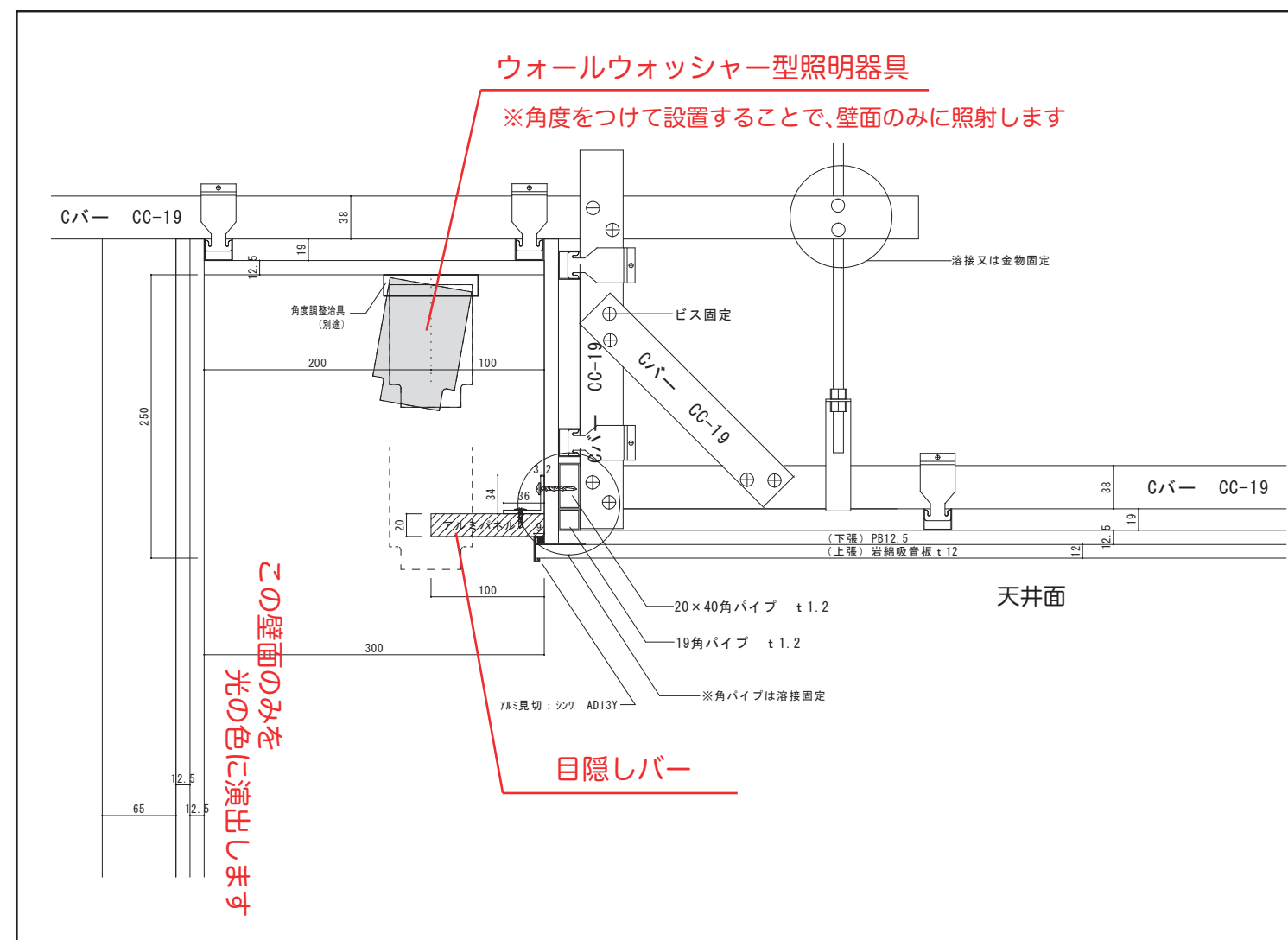


- 当社独自のLED配置により、照射面において色ムラのない美しい混色を表現。
- 器具サイズを小さくできる電源別置タイプと、電源ボックスの設置条件を気にせず設置できる電源内蔵タイプをラインアップ。

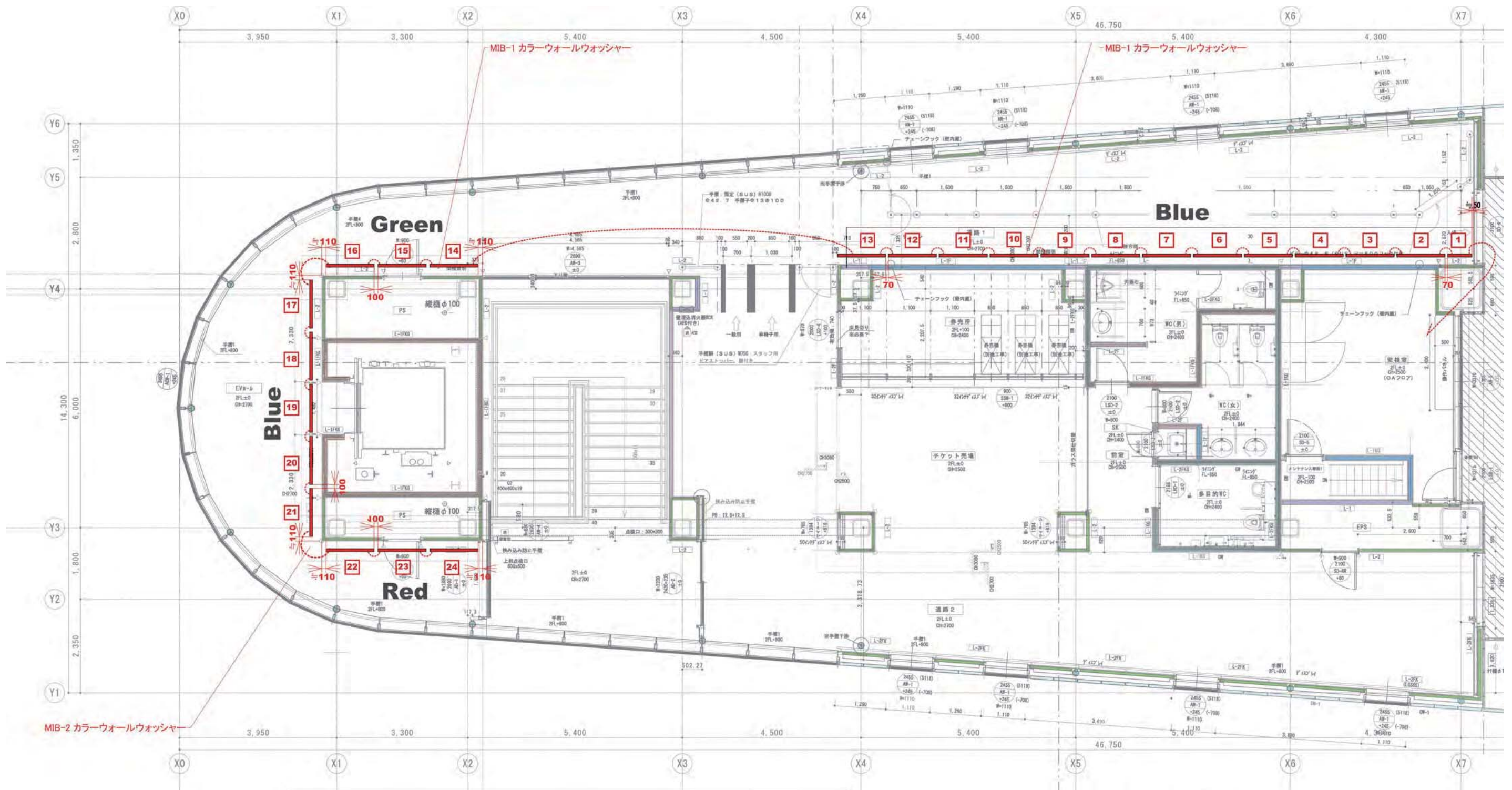


バリエーション	
種別	ライン
光源	LED
カラータイプ	※調色タイプ・単色タイプも対応可能です。別途お問い合わせください。

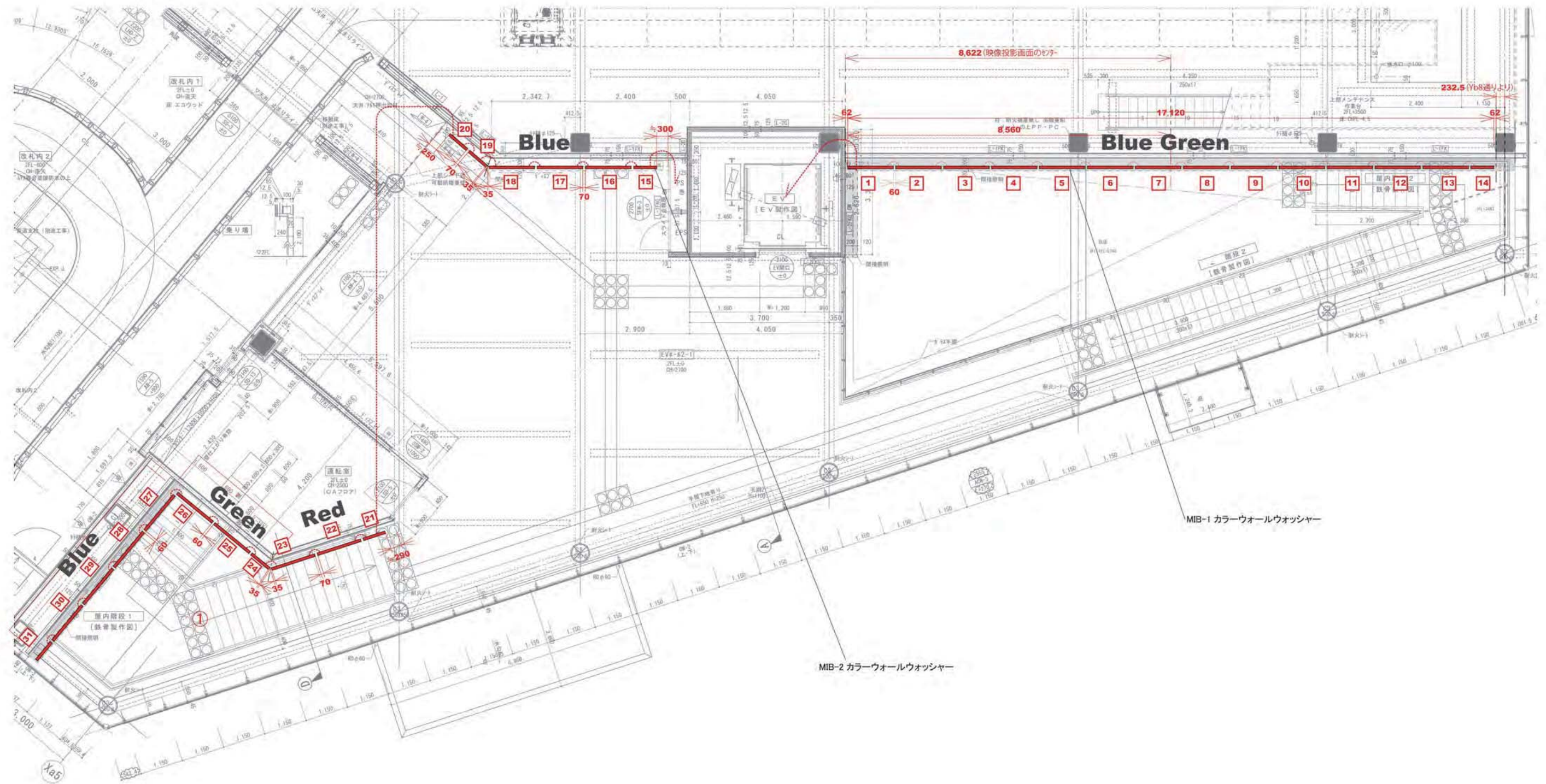
・設置断面図

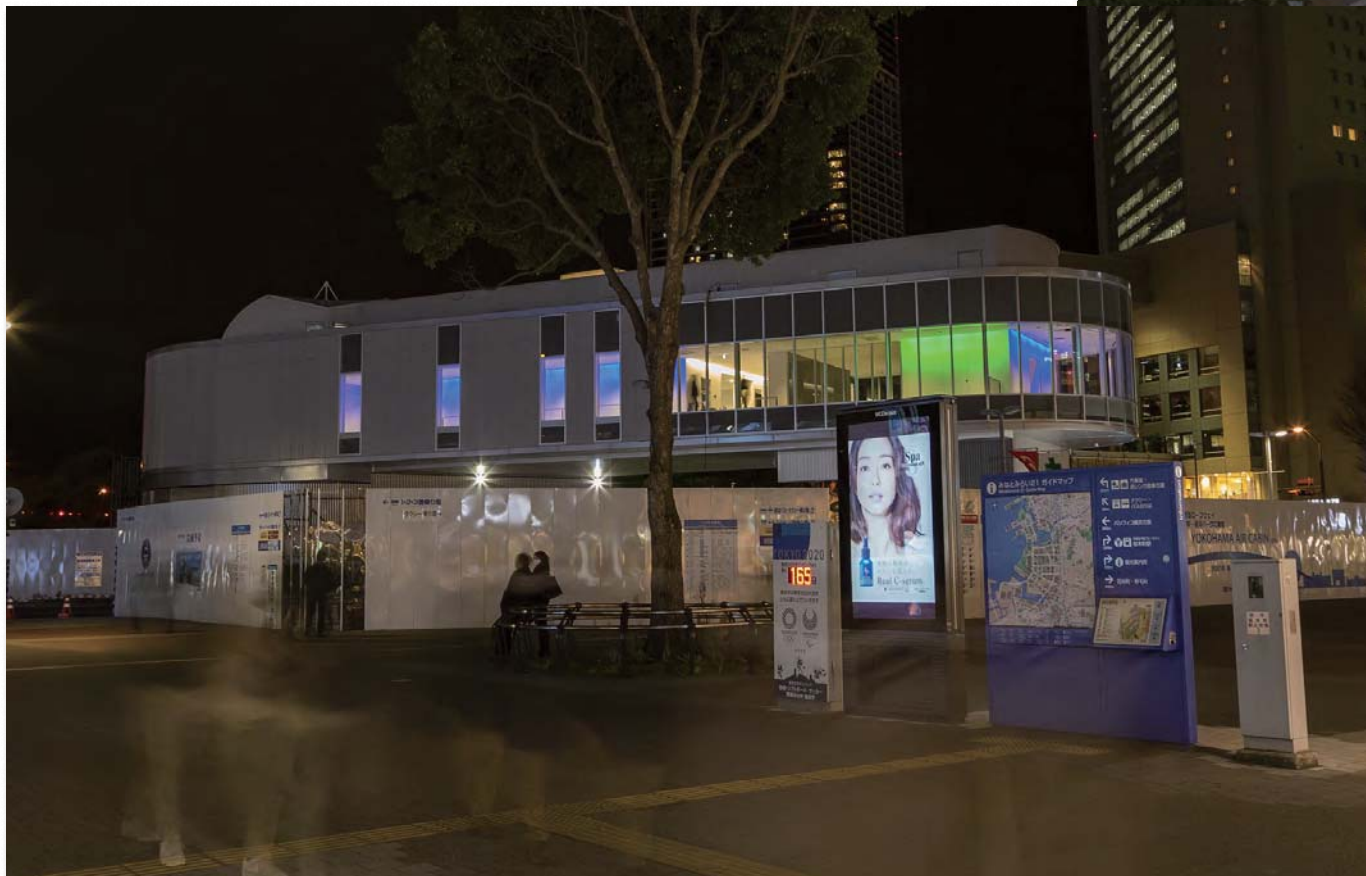


・器具配置図 (桜木町側駅舎)

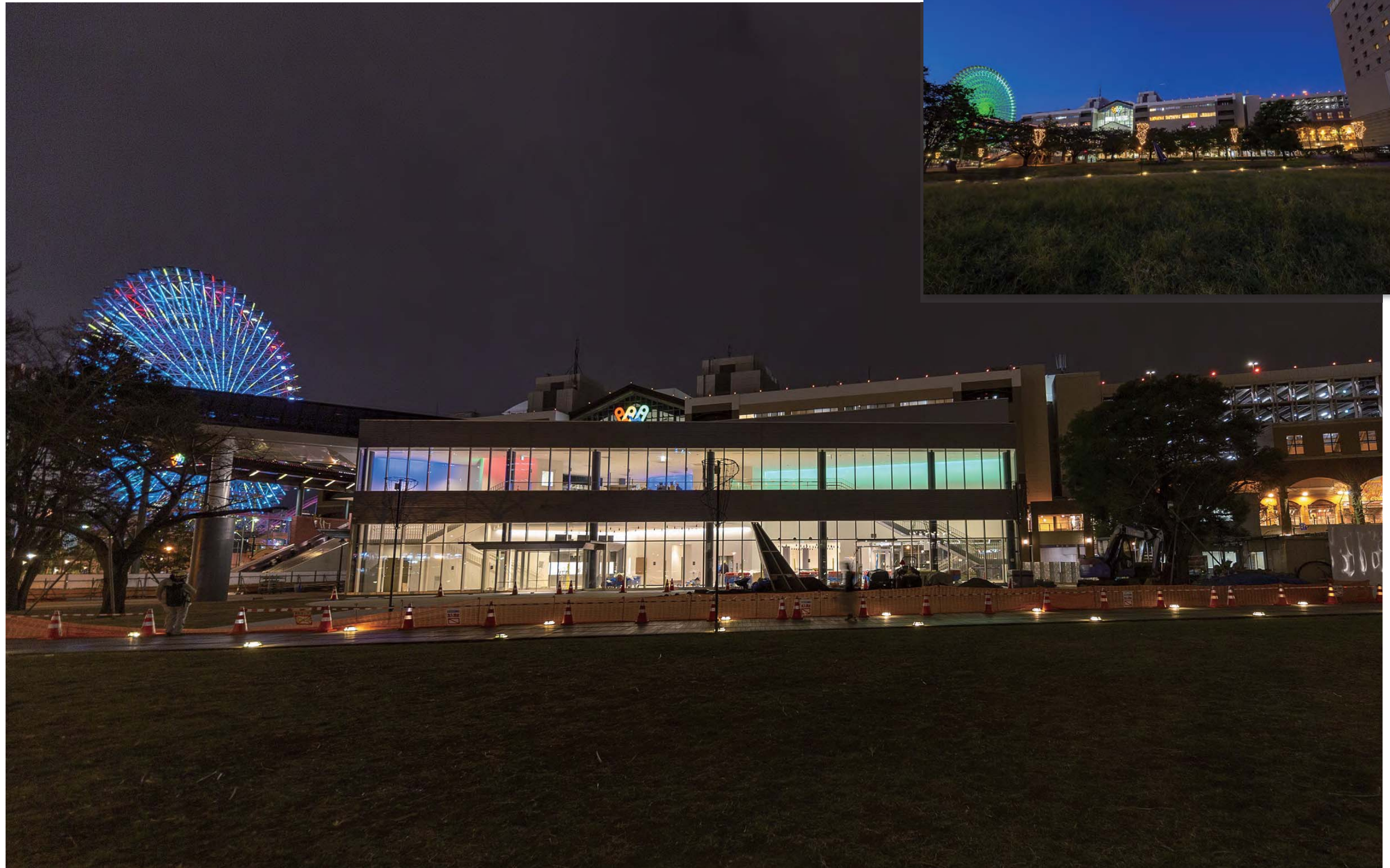


・器具配置図 (運河パーク側駅舎)





(演出イメージ／試験点灯時撮影)



(演出イメージ／試験点灯時撮影)

1. 桜木町駅側駅舎

		00:00	営業開始	日没	営業終了 24:00	
基本照明※1			ON	3000K	3000K	OFF
	壁面カラー演出		ON	3000K	演出壁面 (固定カラー)	OFF
	館内BGM※2		ON	通常BGM		

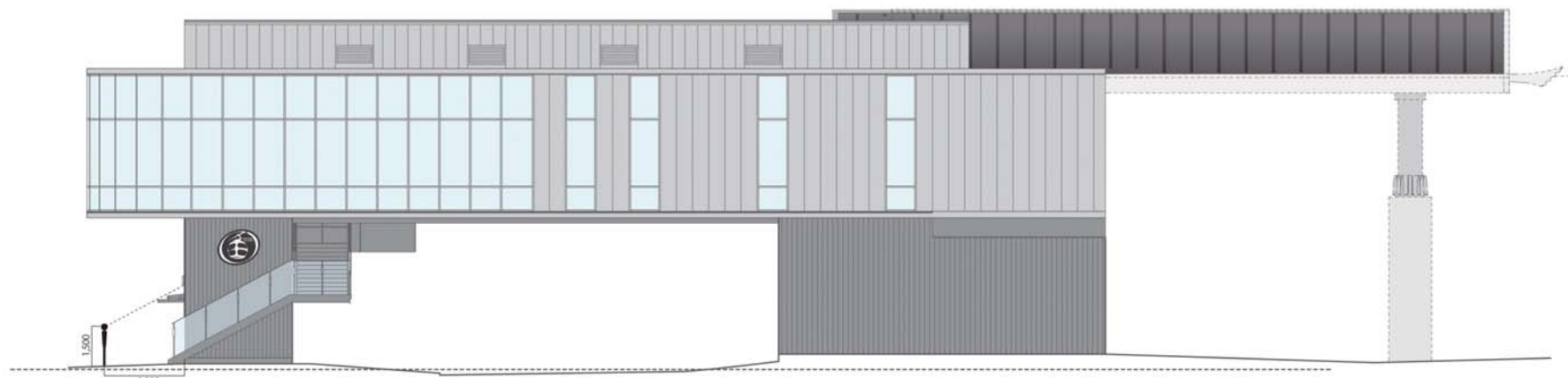
2. 運河パーク側駅舎

		00:00	営業開始	日没	営業終了 24:00	
一般部	基本照明※1		ON	3000K	3000K	OFF
	壁面カラー演出		ON	3000K	演出壁面 (固定カラー)	OFF
館内BGM※2			ON	通常BGM	インターバルBGM 演出 インターバルBGM 演出 繰り返し	OFF

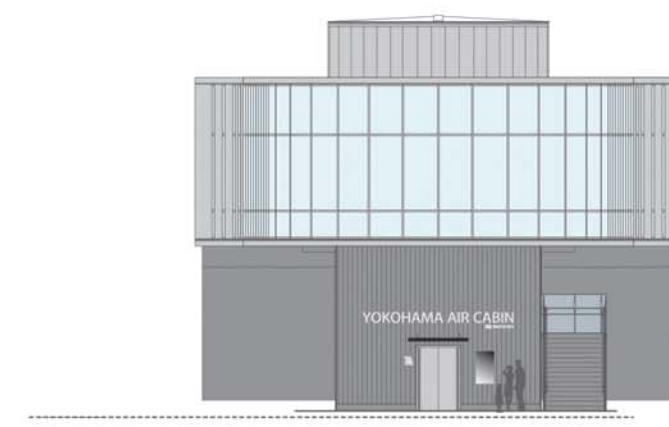
15分
15分

※1 警備上常夜灯として必要な部分は、営業終了後も一部の照明を点灯したままとします。
 ※2 緊急放送が優先されるものとします。

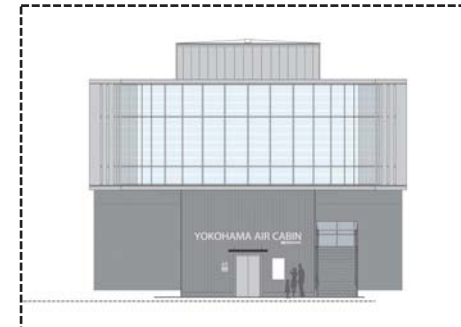
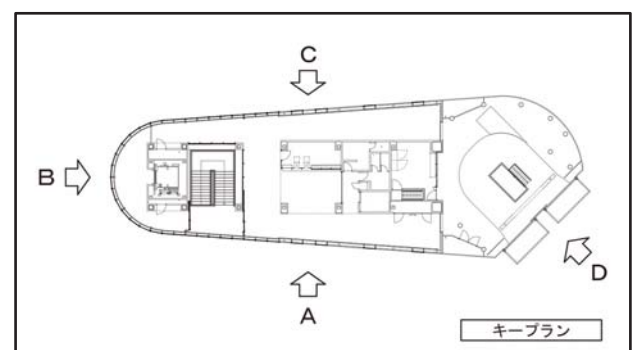
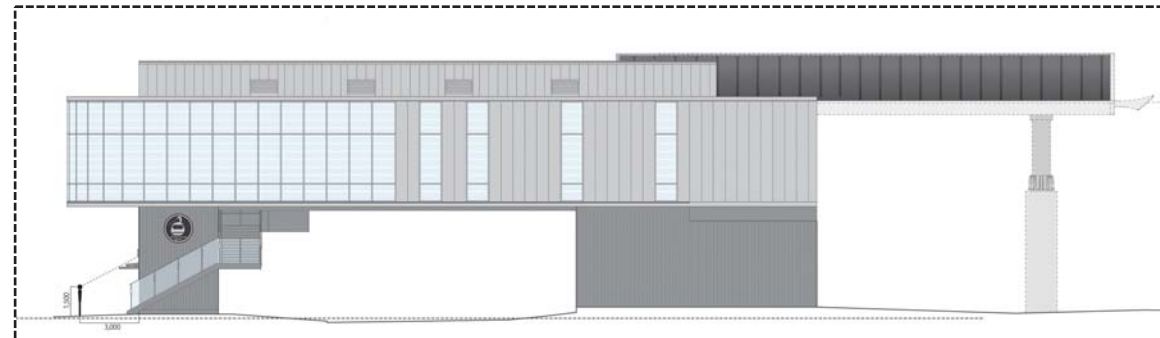
..... 変更前図(第57回審議会提出資料)



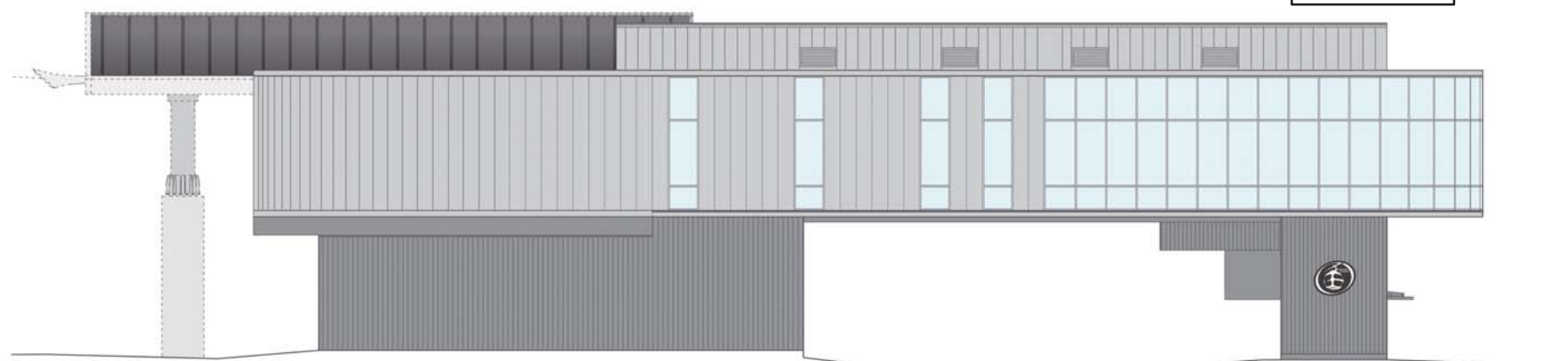
A立面図



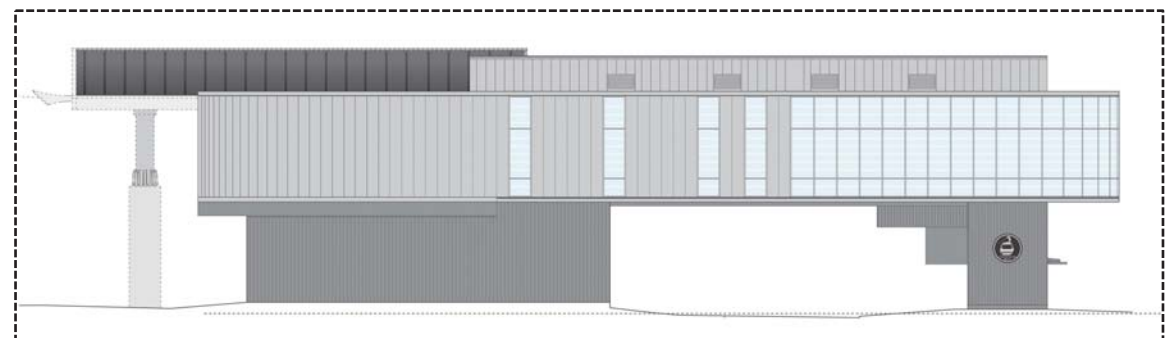
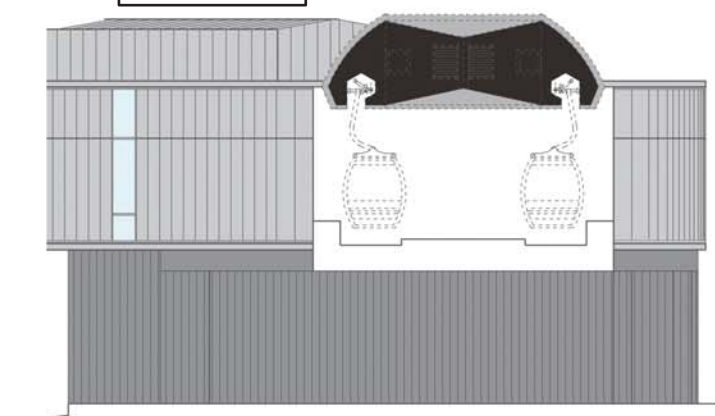
B立面図



C立面図



D立面図



当初計画では大きく開けたガラス窓部分にストライプをデザインしていました。また一方、第49回審議会の「施設デザインの方向性」におきましては、

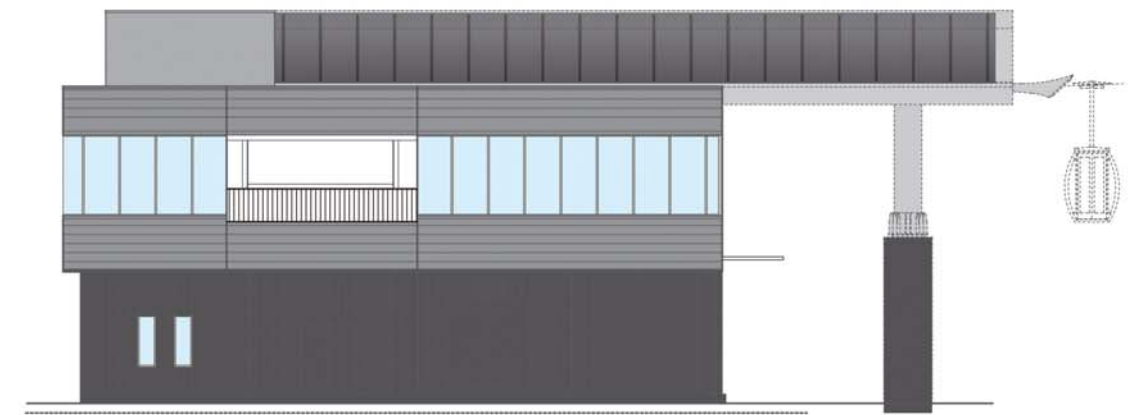
駅舎の2階部分は透明感と開放感あるデザインとし、駅前広場を見渡せる展望機能を設け、広場からもロープウェイ施設を利用する人の賑わいが伺える構造となっており、観光振興施設の機能も併せ持ったデザインとしています。

とのコンセプトを展開しておりましたが、横(水平)方向に連なる窓のデザインを踏襲することによるエリア全体の建築物としての一体感と、2階からの展望と広場から駅舎内部の賑わいを伺うということの二つのコンセプトを両立させるために、視界に影響するストライプを設置しないものとなりました。

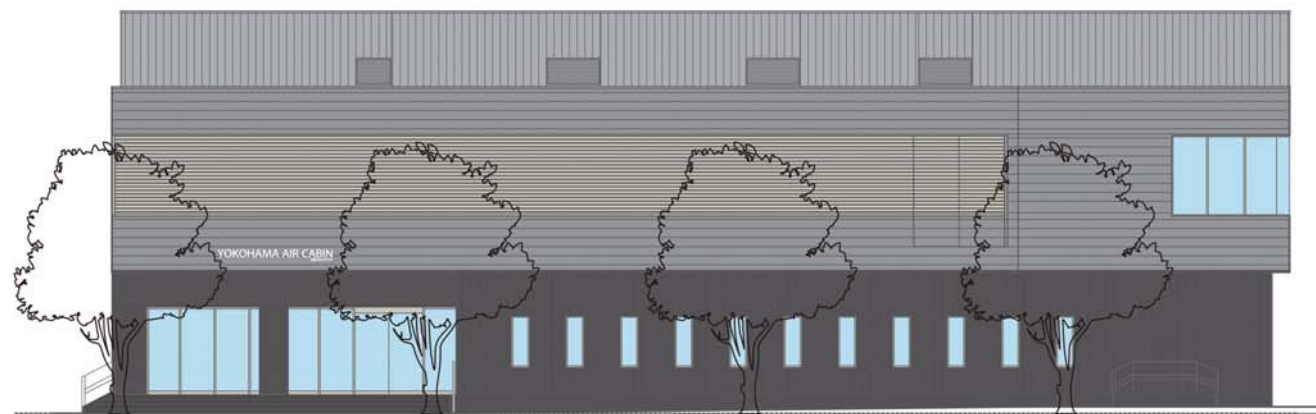
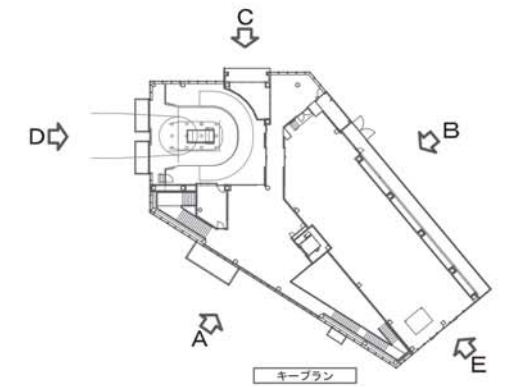
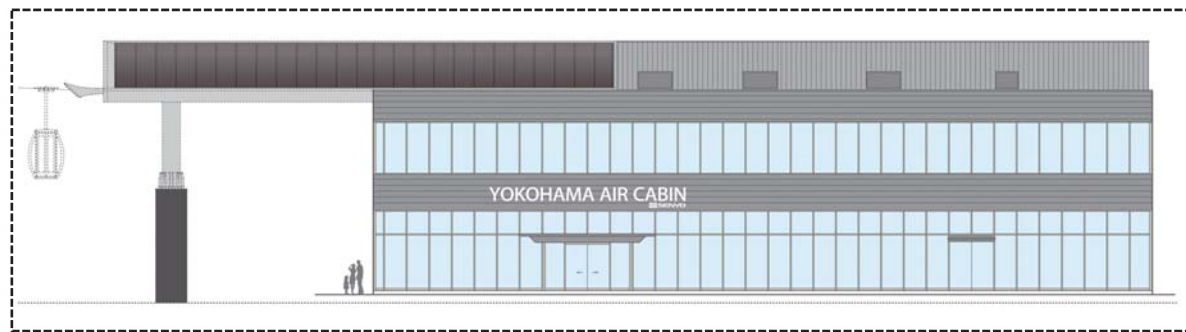
..... 変更前図(第57回審議会提出資料)



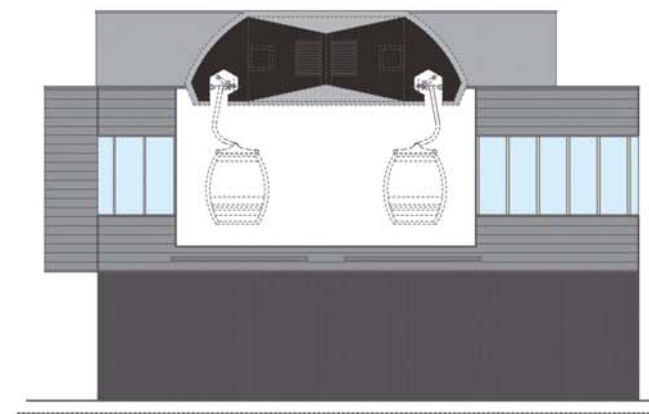
A立面図



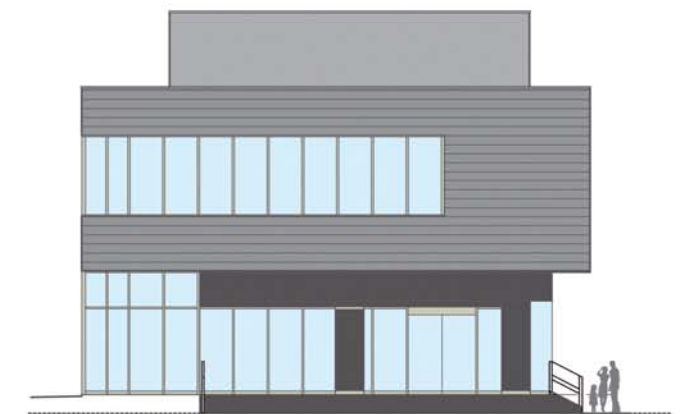
C立面図



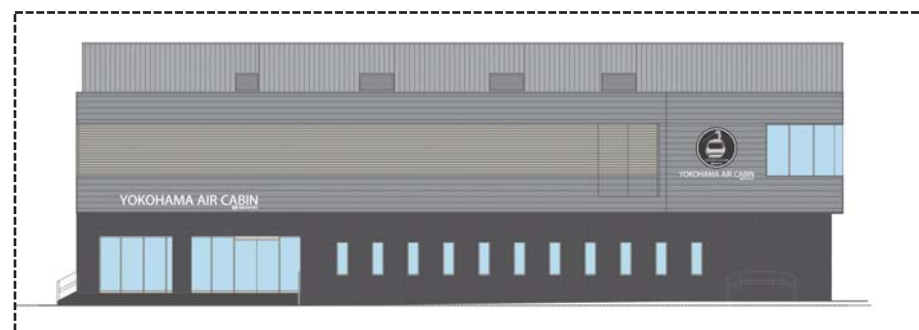
B立面図



D立面図



E立面図



駅舎内映像アートについて
(参考)

・使用機器

光が新しい意味と力を手に入れた

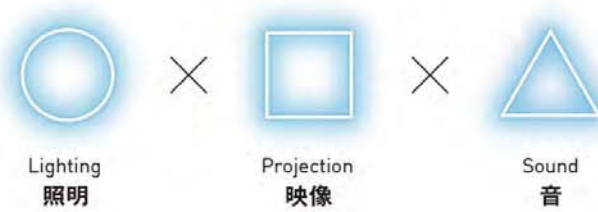
スペースプレーヤー開発の原点は、まさに照明の発想にあります。

空間になじむスマートなフォルム。フレキシブルな構造。

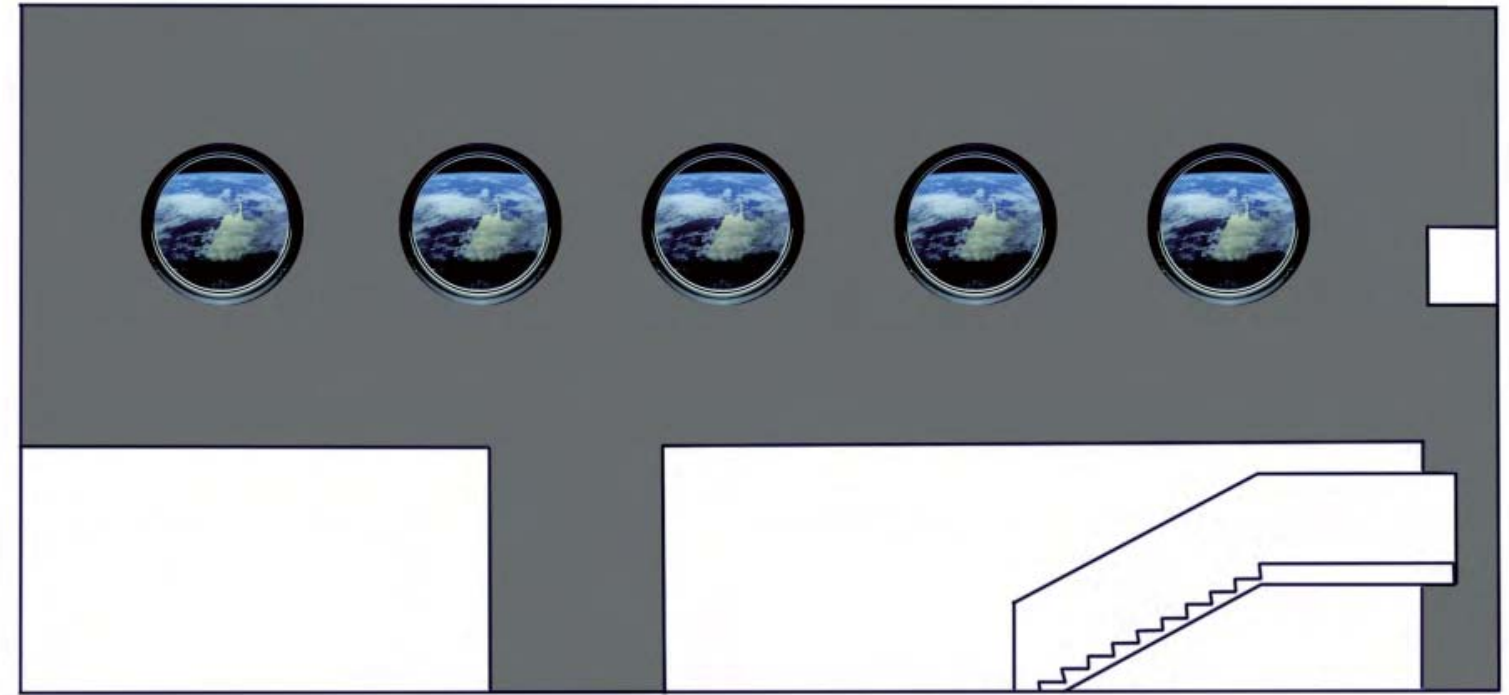
そこに独自の映像・音声機能を加え、

空間演出の新しい価値を生み出しました。

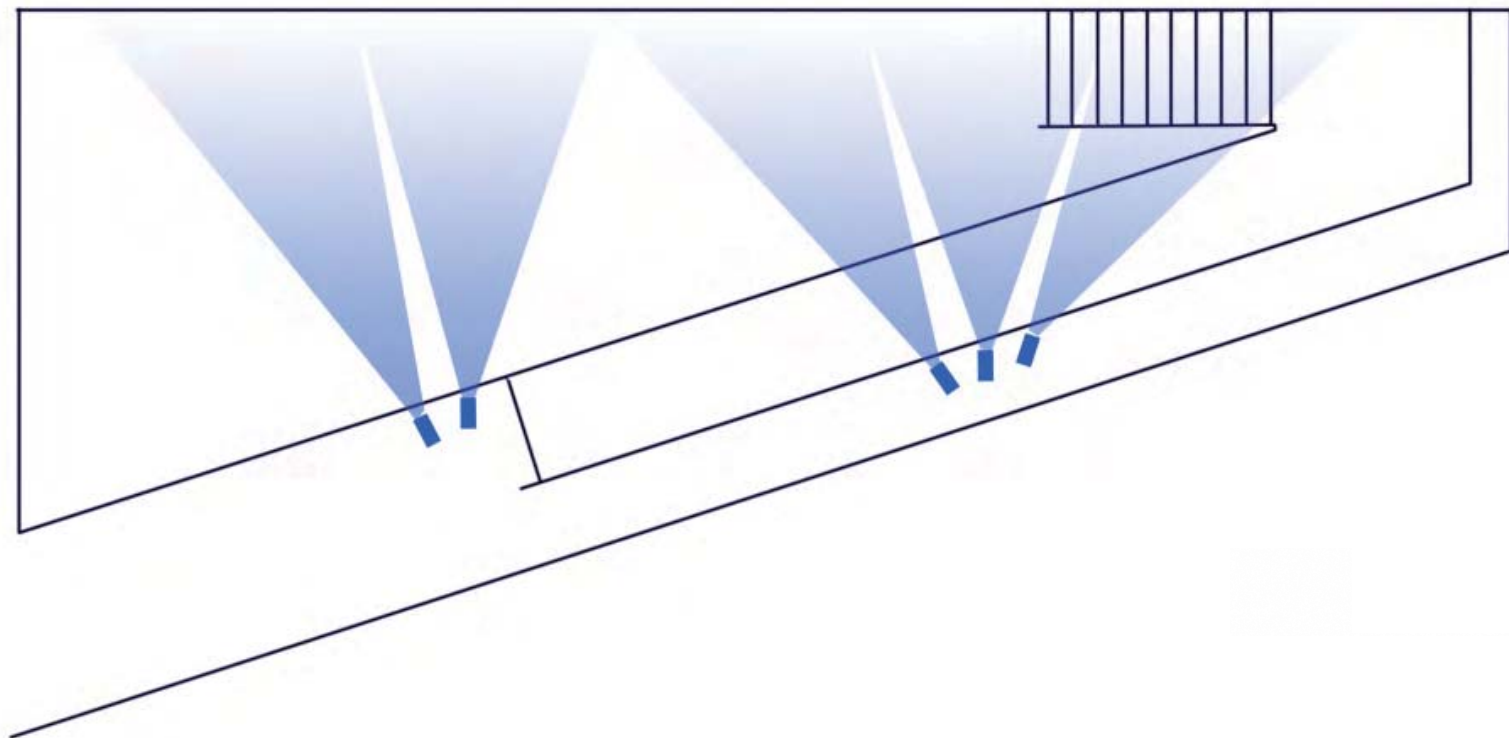
— さあ、いつもの空間に新しいおどろきを。



・立面図



・平面図



コンセプト

横浜は明治時代に、最も早く日本の外に向けて開かれた窓でした。

一方新しい横浜の名所となることが期待されるYOKOHAMA AIR CABINは、大きな窓から横浜港の素晴らしい景観を満喫できることが最大の特徴の一つです。

そこで、YOKOHAMA AIR CABIN 運河パーク側駅舎の吹き抜け部壁面に映写されるオリジナルの映像アート作品は、「窓」をメインモチーフにします。

ゴンドラの演出照明との共通テーマである「水と光」と、それらが育む「いのち」をテーマとして、深海から宇宙までの垂直線を軸として、水・光・命と地球や天体の美しさを表現します。

生命の泉である海から始まり、陽光を浴びながらきらめく横浜港に寄港した後、空に向かって上昇していくエネルギーを、美しい生き物や風景の映像をちりばめながら3分間の作品として構成します。

シナリオに合わせてオリジナル作曲されるサウンドが、映像をさらに引き立てます

作品タイトル: Life Window ～光・水・命の旅

空間全体を大きな乗り物のキャビンと捉えて、そこから映像の窓を通じて外観を眺める構想です。

港・横浜というロケーションから、海というロマンスに彩られ神秘的な一面も併せ持つ世界への窓。

そして空中散歩が楽しめるロープウェイという乗り物の特質から、雄大な大空そして未知の宇宙へと飛びたっていく、想像の旅を映像作品に織り成します。

その中に、様々な光や水や命を散りばめていきます。









(演出イメージ)

ストーリーボード




第1章【潜水艦の窓】

海中レーダー映像から始まり、深海の光る生物、カラフルな熱帯魚など海の恵みを眺めながら、次第に海面に向かって浮上。

章	尺	テーマ	Contents
1	60"	潜水艦 レーダー	
		潜水艦窓+深海	+framing 
		クラゲ	
		熱帯魚	
		魚群	
		水面へ	

第2章【船の窓】

客船の窓から眺める海原の景色は、太陽が海を黄金に染める夕景に変わっていきます。やがて船は大都会に寄港。

2	45"	船 船窓	
		夕焼け空	
		都市夕景	

第3章【飛行機の窓】

旅は空へと続きます。滑走路を飛び立ち、美しい夜景を俯瞰した後、飛行機の窓から神秘的なオーロラを堪能。

3	60"	飛行機 滑走路	
		飛行機窓	
		匿名都市夜景	
		オーロラ	

第4章【スペースシャトルの窓】

やがて視界は宇宙へと移り、地球をスペースシャトルの窓から眺め、将来人類の多くが見ることになるかもしれない「地球光」に思いを馳せます。

4	45"	スペースシャトル スペースシャトル窓	
		地球	
End	3'		

[運用] 日没から運行終了まで

12分間 カラーウォールウォッシュ照明 & 3分間 ビデオアート を繰り返す

運河パーク側駅舎

		00:00	営業開始	日没	営業終了 24:00	
吹抜け部	基本照明		ON 3000K	OFF		
	壁面カラー演出		ON 3000K	Blue Green 12分	OFF	Blue Green 12分
	映像アート		OFF	OFF	ON 3分	OFF
館内BGM※			ON 通常BGM	インターバルBGM 演出	ON 3分	OFF

15分
15分

※ 緊急放送が優先されるものとします。

事業者提案に対する市の考え方

— (仮称) 横浜ロープウェイプロジェクト —

1. 夜間景観について

今回提案された演出照明計画については、駅舎外壁及び支柱に対する演出としてのライトアップを行わず、ゴンドラに限定した照明としていることや、ゴンドラの照明装置について進行方向の前後2面のみに設置され、側面方向には発光しないことから、北仲通北地区をはじめ周辺地区に立地する住宅・ホテルや、ロープウェイが上空を通過する道路を走行する車両へ与える影響は限定的であると考えられ、周辺環境に配慮された計画となっていると考えます。

一方で、ゴンドラ及び駅舎内壁の演出照明については、過度な演出は避けつつも、印象的な夜間景観を創出するため、適切な範囲内で明るい差し色を用いることや、ゴンドラは動きのある演出を行っており、まちの新たなシンボルである都市型ロープウェイの特徴が表現されていると考えます。

さらに、駅舎においては、照明に多少の変化を与えることにより、より印象的な夜間景観を創出できることもあると考えられますので、ご議論頂きたいと思います。